

TADASHI KAWAMAMATA

TOKYO
IN
PROGRESS



川俣正・東京インプログレス—隅田川からの眺め

TADASHI KAWAMATA

TOKYO IN PROGRESS

塔ってことないよ。2010



川俣正・東京インプログレス—隅田川からの眺め

【主催】東京都／東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）／一般社団法人CIAN
【後援】荒川区／荒川区教育委員会

一般社団法人 CIAN × 東京アートポイント計画

東京に新たなシンボルが現れている。2011年に完成する新電波塔「東京スカイツリー」は第2の東京タワー、新しい情報配信源、そして都市の新名所として注目され、隅田川河岸に新たな景観をつくりだしている。

戦後60年一気呵成に経済成長を遂げてきた東京は、人、物、情報を膨大に取り込むことで物質的な豊かさを獲得し、都市の表情をめまぐるしく変貌させてきた。しかし、永遠とも謳われた経済成長も幻影と化し、新たな方向性を模索するときとなっている。この時期にスカイツリーが建設されるのはその意味でも象徴的である。新しく立ち上がるファロス（塔）の図像は何を象徴するだろうか。世界における東京は変化している。幾重の変化にさらされる時流のなかで今「東京」について改めて考えてみたい。

川俣正

Project 2010 Document

東京インプログレスとは？

世界的なメトロポリス都市である東京を、ワークショップ、シンポジウム、トーク等を通して再考するとともに、そのプロセスを、一連のプロジェクトを通じて提示していきます。プロジェクトの実施拠点を隅田川エリアに設置し、木造の塔を構築します。このプロジェクトは、その空間的、時間的な経験の総体のなかから「東京」という新しい都市の表象・イメージが構築されることを意図し継承的に展開していきます。

2010年のプロジェクトは「ワークショップ」と「塔の建設」を中心に展開されました。小学生の子ども達とは手のひらサイズの塔を制作したり、塔のお話を一緒に考えたりしました。建設現場では地域の方々と活発な交流があり、中には塔の建設に協力して下さる方もいらっしゃいました。塔を建てる人、塔のまわりに集まる人...人と人がプロジェクトを通じて出会い、日々、新しい物語が生まれていきました。多くの人々に見守られながら、完成した「汐入タワー」、今後はここでどのような出会いがあるのでしょうか。

【ワークショップ】

「汐入タワー」を設置するにあたってプロジェクトでは様々なかわりの場として以下の3つのワークショップを実施しました。

【塔を建てる】

2011年1月から建設が始まった「汐入タワー」はおおよそ2ヶ月をかけ、今年3月に完成しました。川辺にすくと立ち、巨大な東京スカイツリーと対峙する木造の展望塔。その展望台からは、変化し続ける東京の街並みが一望できます。
2011年2月19日(土) | 汐入タワー上様式
2011年3月20日(日) | 内覧会



◎ 汐入タワー

高さ：11m 制作者：川俣正 材質：木材

塔の中へ入ると、展望台へと続くスロープがらせん状に渦巻いています。柔らかな光が木の壁の合間からスロープへと注ぎ落ち、木漏れ日の中のような感覚におちいります。展望台へ向かう途中には、ワークショップの写真と子ども達の作品が飾られており、塔の中に彩を添えてくれています。それらを鑑賞しながら進むと、頂上の展望台へと到着。ゆるやかに流れる隅田川からの風を受けながら、東京スカイツリーを眺めることができます。



◎ 塔のおはなし

【日時】2010年12月12日(日)、18日(土)、19日(日)
【場所】荒川区立汐入小学校多目的室
【ワークショップアーティスト】蓮沼昌宏
自由にお話の話を考えて、絵本をつくりました。友人の東京タワーに建設資材をわけてもらったり、東京スカイツリーとケンカしたりと、愉快な出来事がたくさん盛り込まれた物語に仕上がりました。

◎ 手のひらの塔

【日時】2010年10月31日(日)
【場所】荒川区立汐入小学校体育館
【ワークショップアーティスト】宮元三恵
子ども達と手のひらサイズの塔をつくるワークショップを行いました。塔の高さを競い合ったり、お話を考えたりしながら、いろいろな材料を使って世界にひとつしかない個性的な塔をつくり上げました。

◎ 塔の影をつくる

【日時】2010年11月14日(日)、28日(日)、12月11日(土)
【場所】汐入ふれあい館・都立汐入公園
【ワークショップアーティスト】宮元三恵
相手の動きをまねしたり、身体やものを使ったりして、いろいろな形の影をつくりました。それらをビニールシートに描きうつして切り取り、塔の建設予定地へ、これらでできる塔の影は、どんなに大きいだろうと想像をめぐらせました。

◎ アートコンストラクター（美術制作技術者）講習会

【日時】2010年10月30日(土)、11月14日(日)、27日(土)
【場所】南千住区民事務所東部ひろば館・都立汐入公園
【講師】小山田徹、杉山至 モデレーター：日沼智之
講師陣と受講生が対話しながら、アートコンストラクターに必要な要素について学んでいきました。レクチャーから箱作り、ウッドデッキ制作へと徐々にレベルアップ。楽しみながら技術を身につけることができました。

川俣正 / Tadashi Kawamata

1953年生まれ。28歳の若さでヴェネツィア・ビエンナーレの参加アーティストに選ばれ、その後も欧米を中心に高い評価を獲得し続けている。1999年、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科開設時に教授として着任。2005年には、第2回横浜トリエンナーレ「横浜トリエンナーレ2005「アートサーカス（日常からの跳躍）」」の総合ディレクターを務める。現在はパリ国立高等芸術学院教授、建築や都市計画、歴史学、社会学、日常のコミュニケーション、あるいは医療にまで及ぶ広い領域に関わった作品制作を行っている。

サイトインフォメーション

都立汐入公園

【所在地】荒川区南千住八丁目 水神大橋そば
【交通】JR常磐線・東京メトロ日比谷線・つくばエクスプレス「南千住駅」下車徒歩20分 東武伊勢崎線「鐘ヶ淵」下車 徒歩約10分
◎公開時間 【夏期】4-9月 午前9時～午後5時 【冬期】10-3月 午前9時～午後4時
◎お問い合わせ 一般社団法人 CIAN 【TEL】090-6149-0399(事務局)
【MAIL】info-cian@interlocalization.net

アートポイント計画とは？

「東京アートポイント計画」は、東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを旨とし、「東京文化発信プロジェクト」の一環として東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開している事業です。

